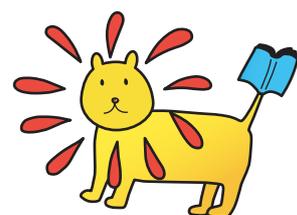


りぶらサポータークラブ 平成 23 年度 活動報告書



平成 24 年 3 月
りぶらサポータークラブ



りぶらいおん©LSC

目 次

ごあいさつ	…… 2
平成 23 年度の事業一覧	…… 3
平成 23 年度事業報告	
会議	…… 4
会員研修	…… 5
広報	…… 6
りぶらまつり	…… 8
りぶらフォーラム	…… 10
岡崎市生涯学習シンクタンク	…… 11
ボランティアを育む会	…… 12
岡崎図書館未来企画	…… 14
シネマ・ド・りぶら	…… 16
絵本を送ろう	…… 17
りぶら いきものみっけ隊	…… 18
冬のコンサート	…… 20
外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会	…… 21
りぶらを活用	…… 22
りぶら支援	…… 24
平成 24 年度の運営方針	…… 25

ごあいさつ

平成 23 年度は、3 月 11 日の東北大地震の被災者支援として「絵本を送ろう」の事業から始まりました。すぐに動ける「りぶらサポータークラブ」の本領を發揮できた事業でした。私たちの事業には、このように適宜対応できる活動と、継続した施設活用や利用者支援の活動があります。



「りぶら いきものみっけ隊」は、22 年度から引き続き毎月開催され、りぶら周辺ののいきものを見つけたり、季節の変化を感じたり、海の小さな生き物をしらす干しの中から探したりと、親子で楽しみながら環境学習をしています。「ボランティアを育む会」では、ボランティアシステムを確立し、市民活動センターの「まちびとバンク」と協働し、ボランティアのマッチングに努めました。図書館の書架整理には毎月新しい方が登録し、実践してくれています。

「シネマ・ド・りぶら」では、図書館にある DVD を活用して映画を上映し、常連さんが出るくらい定着してきました。実績が認められ、24 年からは主催が図書館とりぶらサポータークラブの協働という形になります。「まちびとバンク」のボランティアにも毎回お手伝いしていただき、仲間となってもらっています。「岡崎図書館未来企画」では、図書館への提言書を作成し館長に提出しました。市民の望む図書館として、りぶららしい図書館の活用のための中長期目標を設定することなどを提案しました。「岡崎生涯学習シンクタンク」では、第 2 次生涯学習推進計画のなかで、明確にいただいたクラブの役割を実践していくため、24 年度以降の具体的な実践案を練ってきました。

また、利用者や市民活動団体などの交流を図るための「りぶらまつり」も 3 回目を数え、実行委員として大勢の方たちが力を合わせ、盛大なまつりを開催することができました。今回はサポータークラブとして日頃から活動している事業も皆さんに披露することができ、仲間を確保することができました。財源が少なくなる中、人同士が繋がり、各人のできることを集めることにより、みんなの望むまつりができていくと思います。

りぶらの活用を目的とした協働事業では、「親子でトモ学」の講座が開催されました。子どもの支援だけでなく、詩を朗読し画を描く過程を通じて親子をサポートする事業でした。図書館の資料を親子で探し皆で読みあうことにより、詩の世界を絵に描くという楽しい講座でした。

24 年度も、このような活動を続けながら、市民や行政との新しい協働の姿を示していきたいと思っています。

りぶらサポータークラブ
代表 山田美代子

ふみだそう！りぶらから、はじめの一步

事業区分	事業枠	事業	活動主体	担当
運営	会員研修	LSCコーディネーター養成講座	役員	山田
	広報	広報誌発行	事務局	戸松
		ホームページ		
		りぶらグッズ		
	りぶらフォーラム	運営委員会		内田
	りぶらまつり	実行委員会		杉浦
	ボランティアを育む会	研究プロジェクト		山田
岡崎生涯学習シンクタンク	研究プロジェクト		戸松	
図書館	岡崎図書館未来企画	評価指標づくり	研究プロジェクト	戸松
		オープンソース研究	研究プロジェクト	
		テーマ展示ブックレビュー	実行委員会	
	シネマ・ド・りぶら	映画上映会	実行委員会	森崎
		シネマサロン・セミナー		
絵本を送ろう	実行委員会		山田	
活動支援 交流 文化創造	りぶら いきものみっけ隊		実行委員会	杉浦
	冬のコンサート		実行委員会	山田
	外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会		実行委員会	戸松
	りぶらを活用	親子でトモ学	実行委員会	浅沼
		ひこ・田中氏後援会	実行委員会	山田
りぶら支援	行政事業サポート	七夕飾り	総務	山田
		子ども遊びワークショップ	総務	
		愛知環境絵本まつり	りぶら&図書館	
派遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		山田・村松	

総会、役員会、調整会議、運営委員会

総会
日時：5月21日 13:30~14:30
場所：会議室 301・302

役員会
5月6日（金）、6月2日（木）、7月7日（木）、8月2日（火）
12月16日（金）、2月10日（金）、3月9日（金）

調整会議
職員・りた・LSC 役員
の3者会議

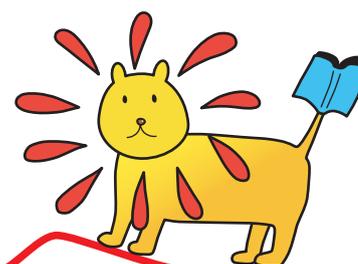
開催日	時間	内容
5月16日（月）	13:30～15:00	りぶらまつり・冬のコンサートについて
6月28日（月）	13:30～15:00	りぶらまつり・施設の利用について
7月26日（火）	13:30～15:00	りぶらまつり・シネマ上映会について
8月30日（火）	13:30～15:00	りぶらまつりについて
9月27日（火）	13:30～15:00	りぶらまつり・のど自慢大会について
10月25日（火）	13:30～15:00	りぶらまつり・ボランティア募集について
12月9日（火）	13:30～15:00	冬のコンサート・環境絵本まつりについて
2月7日（火）	13:30～15:00	りぶらフォーラム・会場の予約について

運営委員会

開催日	時間	内容
4月21日（木）	18:30～20:10	りぶらまつりの方向性について
5月6日（金）	18:30～20:30	総会・会員研修について
5月19日（木）	18:30～20:50	総会・協働事業について
6月17日（木）	18:30～20:10	りぶらまつり説明会・広報について
7月12日（火）	18:30～20:30	事務局員・調整会議について
8月16日（火）	18:30～20:00	のど自慢大会・りぶらまつりについて
9月6日（火）	18:30～20:30	シネマ上映会・りぶらまつりについて
10月4日（火）	18:30～20:30	調整会議・りぶらまつりについて
11月8日（火）	18:30～20:50	冬のコンサート・環境絵本まつり・りぶらまつりについて
12月16日（金）	18:30～20:40	りぶら入館者数 500 万人目の式典・りぶらフォーラムについて
1月20日（金）	18:30～20:00	生涯学習事業・ひこ田中氏講演会について
2月17日（金）	18:30～20:10	りぶらフォーラムについて
3月16日（金）	13:30～15:10	図書館まつり・次年度事業について

会員研修

事業の目的	LSCの目的や成り立ちを体系的に学び、基本的なスキルを身につける機会をもうけ、LSCにかかわる人たちが一体となって活動にあたることができるよう、知識と気持ちのインフラ整備をおこなう。
活動実績	<p>① LSC コーディネーター養成講座</p> <p>講師：戸松啓二 デルター株式会社代表取締役・LSC 顧問</p> <p>第1回：6月26日(日) 10:00～12:00 創作室 (17名) LSCの目的——公益的の市民活動とは</p> <p>第2回：8月28日(日) 10:00～12:00 会議室301 (14名) LSCの事業構造——真の顧客と仕入れ先</p> <p>第3回：10月30日(日) 10:00～12:00 会議室301 (11名) LSCの会員とは——陥りやすい誤謬を解く</p> <p>第4回：12月18日(日) 10:00～12:00 会議室301 (10名) LSC活動の意味——実績を味わい直す</p> <p>第5回：2月19日(日) 10:00～12:00 会議室301 (11名) LSCの明日——現実に落とし込む</p> <p>② 「市民を巻もむ・人材マネジメント研修」参加 (2名)</p> <p>主催：ボラみみより情報局・市民活動支援機構ぼらんぼ</p> <p>第1回：11月27日(日) 10:00～17:00 やはぎかん</p> <p>第2回：12月11日(日) 10:00～17:00 やはぎかん</p> <p>第3回：1月14日(土) 10:00～17:00 やはぎかん</p>
事業の成果	<p>① 運営委員の他、りぶらの担当職員や「りた」や一般の方の参加もあり、活動の意味と役割の理解が深まった。</p> <p>② ボランティアの受け入れに際し、必要な項目などを体系的に学ぶことができ、運営委員や編集員の募集に繋げることができた。</p>
平成24年度の展開	活動案内や会員の手引きを作成する。 継続的に研修を行う。



広 報

事業の目的

- ・りぶらとLSC活動の情報発信、および活動の可視化。
- ・りぶらサポータークラブの周知活動。

活動実績

- ①情報誌の制作・発行:年6回 発行部数:700部前後
- ②ホームページの更新:随時
- ③メールマガジンの発行:年12回

事業の成果

- ①HPに「ボランティア情報」のバナーを設置し、「まちびとバンク」の情報を掲載している。
- ②HPに「岡崎市生涯学習情報」のバナーを設置し、市内の生涯学習情報を掲載している。
- ③りぶらまつりととのど自慢大会へのグッズ提供のためトートバッグの販売を完了した。

平成24年度の展開

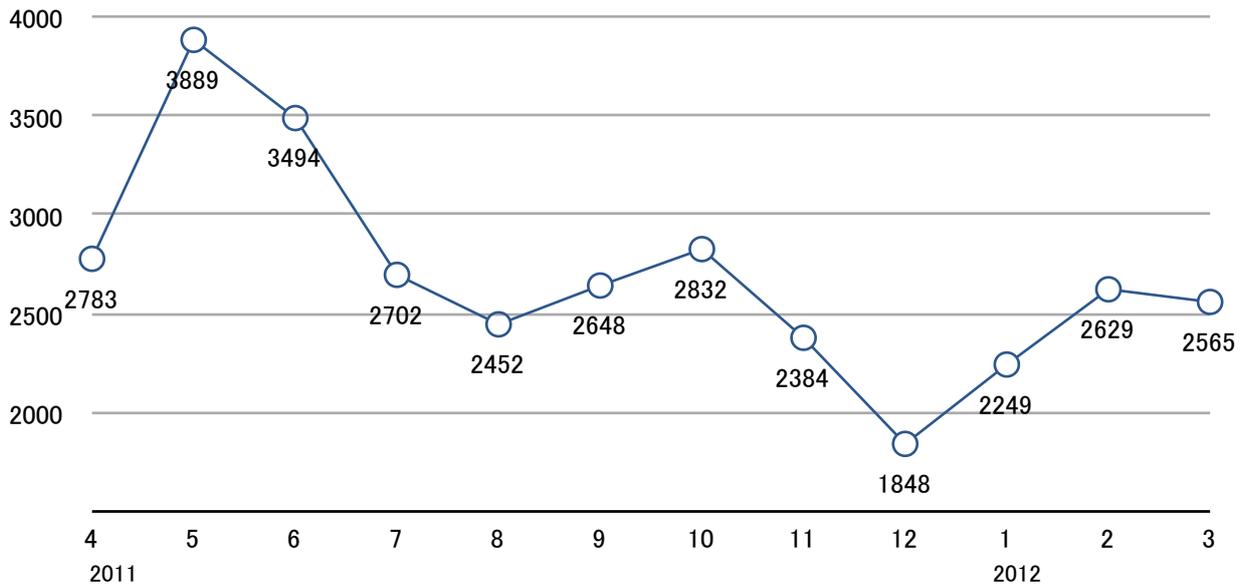
- ①ホームページの開設から3年目を迎え、サイトマップの整理とトップページのリニューアルを検討する。
- ②トートバッグの再販。
- ③新たなグッズの開発。
- ④情報誌の内容充実を図る。



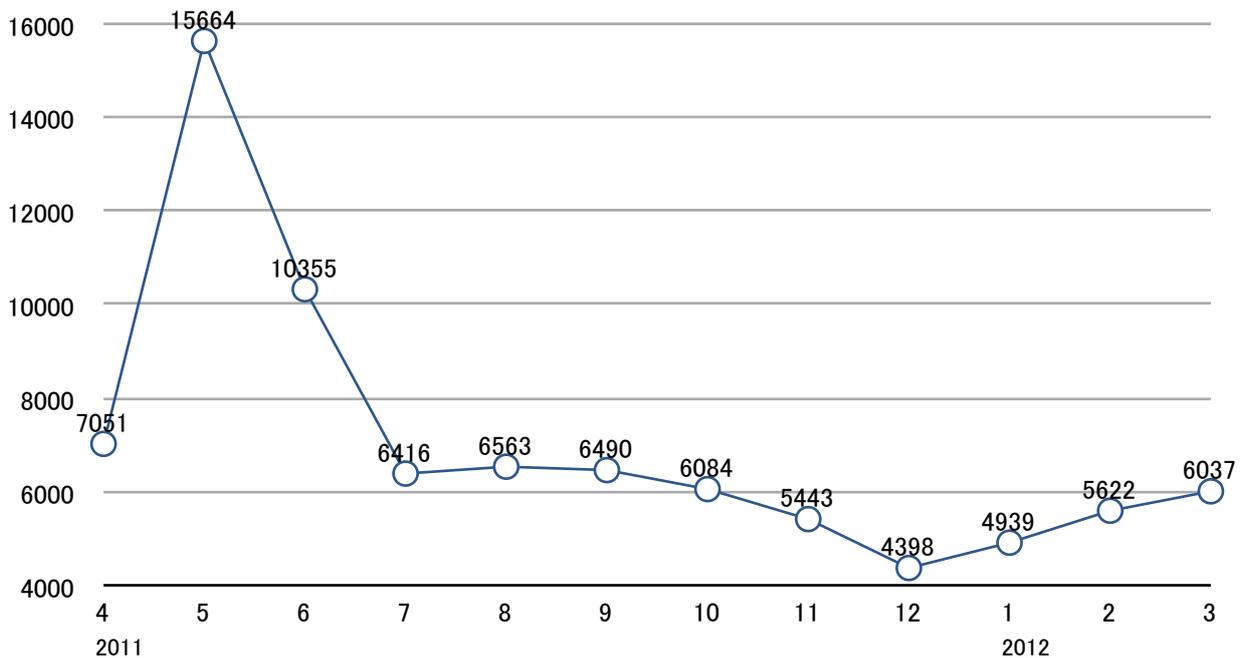
平成23年度 LSCホームページアクセスデータ 月別合計

	2011												2012		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
訪問者数	2,783	3,889	3,494	2,702	2,452	2,648	2,832	2,384	1,848	2,249	2,629	2,565			
閲覧ページ数	7,051	15,664	10,355	6,416	6,563	6,490	6,084	5,443	4,398	4,939	5,622	6,037			

訪問者数



閲覧ページ数



りぶらまつり 2011

事業の目的



テーマ：りぶらまつりで見つけよう、はじめの一步

「りぶらまつり」は、この3月の策定された『第二次生涯学習推進計画』の中で、「交流機会の提供」という位置づけで、りぶらを舞台として、市民・市民活動団体・民間事業者・市などを結びつける交流事業として開催されることになっています。単に「りぶらでおこなわれるおまつり」というのではなく、「りぶらを活かすおまつり」ということです。その目的として、ひとつに「りぶらでの学びを創る」こと、そして「交流による新しい学びを創る」ことの2つがあります。

りぶらをステージに活動する皆様と参加者が、ともに、新たな学びと活動の一步を踏み出す契機となるようなまつりを目指します。また、「りぶらまつりで終わり」ではなく、参加した方々に、次の一步を促すような取り組みを期待します。

活動実績



- 説明会：6月21日(土)13:30~16:00 会議室 301・302 (52名)
- 実行委員会①：7月16日(土)13:30~15:30 会議室 301~303 (68名)
- 実行委員会②：8月20日(土)13:30~16:00 会議室 301・302 (72名)
- 実行委員会③：9月10日(土)13:30~16:00 会議室 103・ボラ室 (75名)
- 実行委員会④：10月8日(土)13:30~16:00 会議室 301・302 (74名)
- 実行委員会⑤【反省会】11月26日(土)10:00~12:30 会議室 103 (31名)



【りぶらまつり 2011・11月12日(土)、13日(日)】



来館者数	12日	8,035人
	13日	8,101人
	合計	16,136人
実行委員団体数	50	
プログラム数	77	
実行委員参加スタッフ数	384人	
ボランティア数	23人	
ストリート広場出店者数	12店	
アナウンス件数	84件	
おみくじ(スタンプラリー参加者)	1,000人	
絵馬コーナー参加者	78人	
景品寄贈	220点	
りぶらグッズ	705点	
ねぶたパレード協力	ガールスカウト12団	
	子育てサロン「まーも」	

りぶらまつり 2011.11.12-13

りぶらまつりで見つけよう、はじめの一歩

おまつりらしい楽しい雰囲気

好天に恵まれた11月の12日(土)・13日(日)。第三回目となる「りぶらまつり」が開催されました。今年のテーマは「りぶらで見つけよう、はじめの一歩」。りぶらのテーマである市民の交流と生涯学習へのきっかけ作りの場となるように、さまざまな企画が展開され、多くの市民が楽しい二日間を過ごしました。

幕開けは、実行委員長である地元岡崎のアイドルグループ「さくらHR」による元気いっぱいの開会宣言。館内の会議室やホールはもちろん、お堀通りを含む全館で、りぶらで活動する市民団体が工夫を凝らした企画を展開。とてもお祭りらしい雰囲気になりました。

賑やかなのは館内だけではなく。プロムナードでは、太極拳やキッズダンス、空手の演武会などが行われ、多くの市民が

足を止めていました。また、ストリート広場の青空フード市場でも、大勢の人が地元味を楽しんでいました。

フィナーレは、ホールを使って、二日間撮影されたまつりの写真を流しながら、和やかに行われました。

市民の交流を深め自覚を高める

実行委員同士の交流も深まりました。りぶらまつりの実施にあたっては、開催の数ヶ月前から出展者を含む実行委員会を何度も行います。そこは、開催にあたっての事前準備の場であると同時に、りぶらを利用する人たちが、共通のテーマを持って交流する場でもあるのです。

場所決めやスケジュール調整など、お互いがそれぞれの思いを尊重しつつ、りぶらでの特別な二日間を作り上げていきます。実行委員も市民です。市民自らが「自分たちがつくるまつり」という意識を高める場

にもなっているのです。

次につながる「はじまりの場」

反省点もあります。来場者にいろんなところを観ていただきたいとスタンプラリーを企画したのですが、スタンプラリーそのものに熱が入ってしまい、それぞれを「じっくり見る」ということが難しくなりました。

次回の開催に向けて、もっと早くから準備をしたいね、という声もいただきました。りぶらまつりの目指すものや、りぶらの役割なども、もっとわかりやすく示す工夫をしたいという想いもあります。

りぶらまつりは、二日間が終わるものではなく、そこで新しいつながりができ、何かが産まれることを期待する「はじまり」の場でもあります。今回の実績と皆さんの思いを大切に、次回につなげていきたいと思っています。



主催：りぶらまつり 2011 実行委員会
図書館まつり実行委員会
りぶらサポータークラブ
岡崎市

問合せ：〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内
りぶらサポータークラブ事務局
TEL：0564-23-3114 info@libra-sc.jp

岡崎市生涯学習シンクタンク

事業の目的 『第2次岡崎市生涯学習推進計画』をいかに実施するかを考え、よりよい学びの場づくりや、学習機会の創出を目指して話し合い、市内の生涯学習の充実をはかる。

活動実績 ①会議室 102A (火) 14:00～15:30 参加者平均 10名
第1回：5月17日 第2回：6月21日
第3回：7月19日 第4回：8月23日
第5回：9月20日 第6回：10月18日
第7回：11月15日 第8回：12月20日
第9回：1月17日 第10回：2月21日

②りぶら文化活動推進課主催の市民講師「お試し講座」のサポート。
10月27日～11月12日 18講座 参加者 204名

③りぶらサポータークラブのホームページに「岡崎市生涯学習情報」のバナーを設置し、記者発表された市内の生涯学習情報と、りぶらで行われる講座の開催情報を掲載した。

岡崎市生涯学習情報

事業の成果

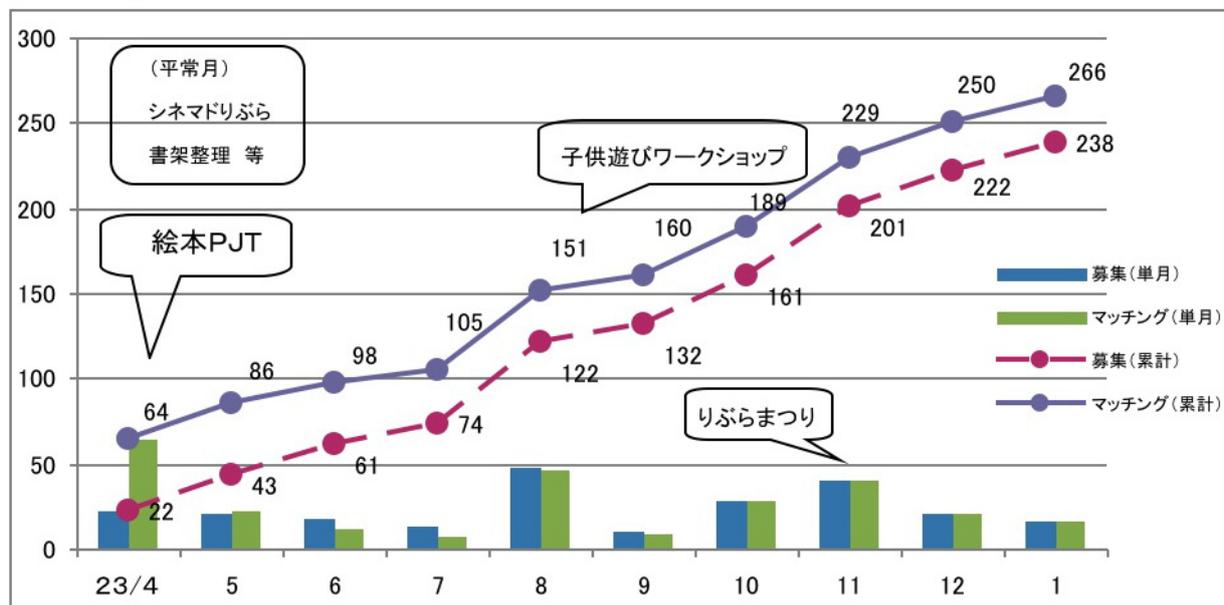
- ・生涯学習推進計画におけるLSCの役割と実践するべき事業内容が明確になった。
- ・担当職員との連絡が密にとれるようになった。
- ・市民登録講師にLSCが周知されてきた。

平成24年度の展開

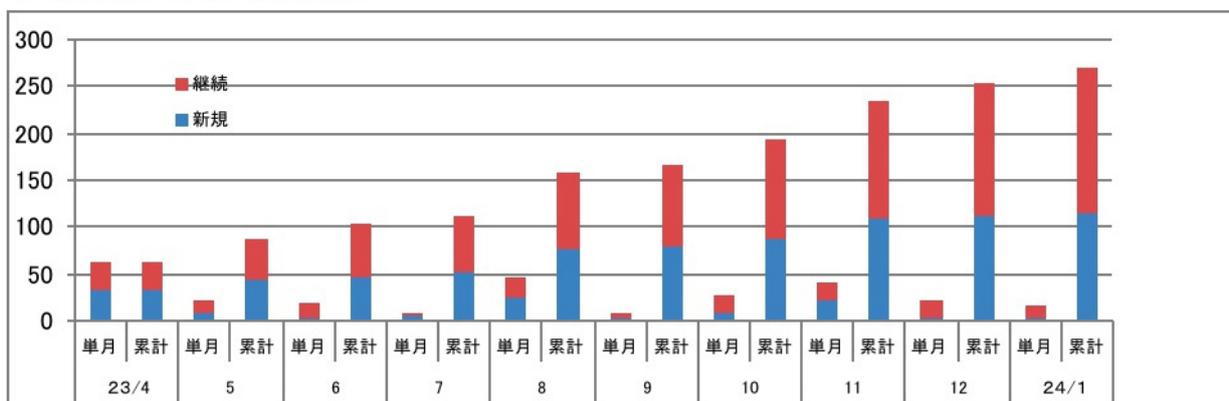
- ・『岡崎市生涯学習はじめましてサロン』と、市民講師のお試し講座として『りぶら講座』の開催を進め、そこで得られ情報をシンクタンクでとして取りまとめ、生涯学習の総合窓口開設への足掛かりを作っていく。
- ・生涯学習情報の継続的な情報発信と利用者への周知を継続していく。



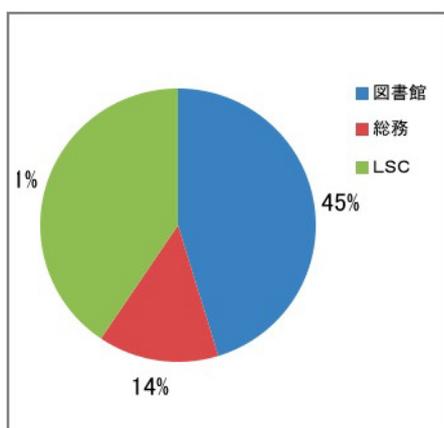
(1)、必要人員マッチング状況



(2)、ボランティアの継続度



(3)、募集者別マッチング状況



(1) 募集数に対しマッチング数が上回り、各月募集数をほぼ充足できた。月により募集数が大きく変化している。変化に安定して対応出来る組織づくりが必要。

(2) 継続者が57%で半数を超えた。継続したボランティアニーズの掘り起こしが必要。

(3) 図書館業務(書架整理)が定着している。図書館業務の定着・拡大と、そのための教育・訓練システムの構築、LSC内での対応可能な組織づくりが必要。

岡崎図書館未来企画

事業の目的

- ・「図書館を核にした生涯学習施設」である『りぶら』をより活用できる施設にするために、具体的に何をしなければならないかを考え、図書館の未来について考える。
- ・図書館の活用や読書推進を進める。

活動実績



①図書館テーマ展示関連ブックレビューの開催

4月19日(火)『桃源郷』

ゲスト：千葉真智子さん(岡崎市美術博物館学芸員)

6月14日(火)『いのちの食卓』 ゲスト：黒柳 桂子さん

(NPO 法人食育推進ネットワーク岡崎支部)

7月10日(日)『元気に夏をのりきろう!』

Libra l on vol.17 (2011.9.1 発行) で紹介

11月12日(土)『鉄道が好き!』 ゲスト：藤井建さん

(NPO 法人名古屋レール・アーカイブス会員)

1月29日(日)『2011年に読んだこの本がいい!』

(図書館テーマ展示外)



②「第97回全国図書館大会」参加

10月14日(金) 第17分科会「ICTと図書館」に、りぶらサポータークラブ顧問の戸松啓二がパネラーとして参加しました。

テーマ『情報システムと危機管理—非日常的危機に対応できるために—』

Libra l on vol.18 (2011.11.1 発行) で紹介

事業の成果

③野田図書館長と懇談

9月・12月・3月に野田図書館長と懇談を行い、図書館の運営や方針などについて伺い、これまでの活動を「提言書」としてまとめ、提出した。

④3/3(土) 名古屋市の図書館を考える市民の会主催(名古屋栄ガスホール)の、『図書館のあり方について考える講演会』(講師：片岡善博)に参加。

平成24年度の展開

提言の内容について、図書館と協働できることを実践していく。



図書館への提言書 2012-04-07 提出

1. 図書館の計画的運営の強化

より市民ニーズにマッチした図書館運営を実現するために、単年度事業目標と中期(3年もしくは5年)の事業実現テーマを設定することを提言いたします。これによって、運営にメリハリを付け、優先度の高いニーズに合わせて重点的に資源を投入するとともに、そうではない領域については現状維持もしくは若干の資源の引き揚げを行います。

資源の引き揚げを行った領域については、当然ながらサービス低下のリスクが生じます。これについては、次善の予防策を講じると同時に、四半期もしくは半期毎に利用者満足度調査を行い、実質的な問題が生じていないかをチェックすればよいと考えています。

サンプルとしての目標案

目標やテーマという話になると、とかく抽象的な話で終わってしまうことが多いので、サンプル的な意味合いを含めてLSCとしての案をご紹介します。

①事業企画に関する提案

中・長期的ビジョン

「図書館を核とした生涯学習施設」としての機能を強化し、市民の「自ら学ぶ生涯学習」を支援する。

【解説】リぶらの特色は、図書館を核に生涯学習を推進する環境が整っているところにある。この特性を生かし、図書館を生涯学習に活かす機会や方法を提供し、市民の生涯学習力のレベルアップを図ることで、豊かな活力ある市民生活を実現する。

単年度目標

職員の「利用者に対する教育力」を強化し、円滑な生涯学習の支援を実現する。

【解説】施設や資料については、すでに一定の環境が整っている。その上で、中・長期ビジョンの実現に必要なのは、これらを活用する人的資源の充実である。目指すべきは市民の生涯学習能力のレベルアップであるが、それを促すのは職員やボランティアである。単年度目標としては、まず人的資源の充実に傾注し、これを次年度につなげ、将来的には、図書館を訪れる人が「生涯学習に役立つ図書館の使い方指導」を受け、正しく図書館を活用し、各種の生涯学習活動でより高い成果をあげることができるようにする。

活動の具体例

- ・ 図書館職員以外のレファレンス講習。
 - ・ リぶらで行われる各事業における、図書館資料の提示・提供。
- 例) むかし館の授業見学(小3)に合わせ、図書館の使い方指導を行いつつ、関連の資料を提示・提供する。

②施設運営に関する提案

中・長期的ビジョン

防災に関する危機管理機能を向上させ、安全・安心な施設

利用を実現する。

単年度目標

現在の防災体制を確認すると同時に、利用者を含む防災訓練やセミナーを実施する。

2. 図書館機能の構造化と共有

図書館として果たすべき役割と、役割を実現すべき機能について整理をし、これを図化するとともに定義を行った「図書館機能図」ともいべき書面を策定し、これを市民(もしくはLSC)と共有することを提案します。これによって、図書館で働く人々とこれをサポートする人々が共通の基盤に立つことができ、あらゆる業務に対する方向性が明確になり、協力の質と量を格段に増やすことができます。

LSCとしてはすでに、基本的な機能の抽出と整理を終えています。これにBSC戦略マップの考え方を加え、図書館の持つ機能と果たすべき役割の因果関係を明確にし、活動のすべてを俯瞰できる状態にしたいと思っています。できればこれを、職員の方とともに具体化していきたいと考えています。

3. 図書館協議会の強化

図書館協議会のあり方について、根本的なレベルから再検討を行い、その強化をすることを提言します。図書館協議会とは、図書館長の諮問に応じて必要な情報や手立てを提供する存在です。ところが現在の体制では、十分にこれを果たすことはできないと思われます。協議会のメンバーには、次の3つの資質が必要と考えます。

- ① 図書館の社会的存在意義や基本的な機能等について、一定の知識や経験があること。
- ② 想定される通常業務以外の課題に対して、答えることができる知識や経験があること。
- ③ 公益事業の一翼を担う、道徳性や社会性を持っていること。

こうしたニーズを満たすには、相応の人材が必要です。LSCとしては、メンバーの増員をお薦めします。しかも、さまざまな専門領域に特化したメンバーを揃えるべきだと考えます。ただし、諮問のための会議に招集するのは十人程度とします。つまり、メンバーを常に一定にするのではなく、課題別に招集をし、必要な情報を得るのです。こうすることによって、協議会に機能性と適度な緊張感が生まれるはずですが、また、明確な目的意識を持ったメンバーの参加により、内容も充実すると思われます。

また、ただ集めて話を聞くだけでは、効率が悪く収集がつかなくなる可能性があります。参加者には先にテーマを示し、発言内容を書面にまとめた上で出席するように求めることで、こうした混乱は避けられるでしょう。具体的な会の運営やコーディネートについては、LSCとして協力できることがあると考えています。

シネマ・ド・リぶら

事業の目的

図書館の映像資料を活用し、スクリーンでの映画鑑賞機会を作るとともに、映画にまつわる関係資料の案内をして、図書館資料の活用を図る。

活動実績

①上映会開催：14：00～ りぶらホール



開催日	上映作品	参加人数
4月14日(木)	『第三の男』	223人
5月12日(木)	『おくりびと』	176人
7月14日(木)	『巴里祭』	181人
8月25日(木)	『キリマンジャロの雪』	228人
10月13日(木)	『死刑台のエレベーター』	260人
12月8日(木)	『誓いの休暇』	150人
2月16日(木)	『麦の穂をゆらす風』	205人

- ・上映会開催日に前後して(約2週間)、関連図書の展示を実施した。
- ・上映会当日、「コラム・ド・シネマ」を配付。

②「りぶらまつり 2011」での活動

- 11月12日(土) シネマサロン開催 (15名)
- 11月13日(日) 『ローマの休日』上映(120名)



③「シネマサロンセミナー」の開催 (60名)

- 6月16日(木) 「『おくりびと』の現場から」
講師：中村典子さん(株)エンゼルサービス代表

④ホームページに「シネマ・ド・リぶら」のバナーを設置。

「コラム・ド・シネマ」も初回分から掲載し、閲覧できるようにした。

事業の成果

- ・上映会を楽しみにされる常連の方が増えている。
- ・次年度から主催が図書館とLSCの共催になる。

平成24年度の展開



開催日予定日	上映予定作品
4月19日(木)	『バルカン超特急』
6月21日(木)	『雨に唄えば』
8月23日(木)	『黄色いリボン』
10月18日(木)	『ヘッドライト』
12月20日(木)	『裏窓』
2月21日(木)	『4分間のピアニスト』



絵本を送ろう

- 事業の目的
- ・東日本大地震の被災者に、絵本や児童書を届ける。
 - ・子どもたちが絵本や児童書を読み聞かせてもらったり、自分で読むことにより、元気を取り戻し、笑顔が戻れば、大人も元気になる。
 - ・子どもが自分の生活を取り戻し、自立できると大人は復興に力を注ぐ支援となる。

活動実績

124人の方から、約6,000冊の図書をご寄贈いただきました。
4月7日(木)、15日(金)、21日(木)、28日(木)14:00~16:00に、ボランティア延べ29人で、赤ちゃん用・幼児用・小学生用・中学生用・大人用に仕分け・梱包し、下記の6箇所の発送しました。

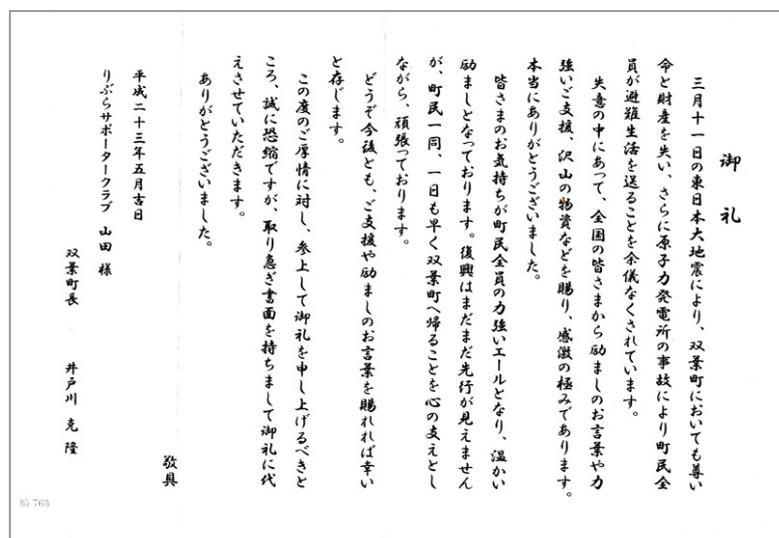
【送付先】

仙台市「あゆむネット」
クレヨンハウス「HUG&READ プロジェクト」2回
ウディパル余呉「子どもミュージアムを作る会」
株式会社バリューブックス2回
福島県双葉町の皆さんの避難先：埼玉県加須市の旧騎西高校
福島県大熊町の大熊中学校の避難先：会津若松市の追手庁舎

【参照】

中日新聞「ホームニュース」4月23日(土)
朝日新聞「ニッポンみんなで」4月27日(水)

事業の成果 双葉町町長よりお礼のお手紙をいただきました。



りぶら いきものみつけ隊

事業の目的



「りぶら」を中心とした庭(康生地区等も含む)を活用し、中心市街地活性化施設としての「りぶら」を中心とした自然(生物多様性)に気づき、いそがしい毎日のなかで、忘れがちな自然の調和のありがたさを認め合えるように、自覚なくうっかり壊してしまわないように、学んでいくことを目的とし、その為の施策を実施する。

活動実績



平成 23 年度は、平成 23 年 4 月 23 日から平成 24 年 3 月 18 日までの間に、定例会を 11 回開催。また、「りぶらまつり」を含む定例会以外の活動 6 回、計 17 回(延べ日数 18 日間)の観察会・講演会等を実施し、りぶら周辺他の生物多様性を認識するため寄与することが出来た。

特に定例会では毎月テーマを決め、テーマに沿った活動を行うことができた。「びんどろ」作りの体験や、きしわだ自然資料館より資料提供を受けた「チリメンモンスター」さがし、杉坂美典先生の特別講演「蝶のおはなし」等と、魅力的なイベントを織り込むことで参加者の興味を引くことが出来た。

また平成 23 年度は「いきものみつけ手帳」の他、「田んぼの生き物図鑑」(水生昆虫編Ⅱ トンボ目)(昆虫編 バッタ目)(田んぼの中の動物たち)、自然科学研究機構基礎生物学研究所発刊の小冊子「研究を支える生きものたち」といった資料配布にも力を入れ、定例会以外の自然観察のお手伝いも出来た。環境省生物多様性センターの「いきものみつけ HP」内の「団体(コミュニティ)ランキング」でも継続的な報告が功を奏し、14169 件(平成 24 年 4 月 22 日現在)でコミュニティとして全国 2 位を維持している。

平成 23 年度 りぶらいきものみつけ隊 定例会

日にち	時間	会場	テーマ
4 月 23 日(土)	10:00~12:00	会議室 101	「春のいきものをみつけよう」
5 月 22 日(日)	10:00~12:00	会議室 302	「ササゴイの営巣」
6 月 18 日(土)	10:00~12:00	会議室 101	「梅雨時の生き物」
7 月 17 日(日)	10:00~12:00	会議室 101	「水辺のいきもの"も"みてみよう」
8 月 20 日(土)	10:00~12:00	会議室 101	「真夏のいきもの"を"さがしてみよう」
9 月 11 日(日)	9:30~12:00	創作室	「ペットボトルの"びんどろ"を作ってみよう」
10 月 9 日(日)	9:30~12:00	会議室 302	「岡崎公園の野鳥を探してみよう!!」
12 月 11 日(日)	9:30~12:00	会議室 103	「伊賀川のいきものを探してみよう!!」
1 月 15 日(日)	9:30~12:00	会議室 101	「チリメンモンスターをさがせ!」
2 月 12 日(日)	9:30~12:00	会議室 101	「春のおとずれを探してみよう!!」
3 月 18 日(日)	10:00~12:00	会議室 101	杉坂美典先生 特別講演「蝶のおはなし」

その他、対外活動等

8月21日(日)	地球温暖化防止隊「第5回エコ農園」での「いきもの話」森の総合駅 2F
11月12日(土)	「りぶらいきものみっけ隊」With 岡崎ウォーキング協会 in りぶらまつり
11月13日(日)	
11月25日(金)	いきものみっけ in 岩津小学校(3年生)
12月18日(日)	「いきものみっけ隊」in モリコロパークへ Run for Peace 愛・地球博記念公園内、地球市民交流センター 講演会場 3
1月21日(土)	いきものみっけ in あいち環境絵本まつり



事業の成果

平成 23 年は、ボランティアさんの協力・参加者の中の野鳥の会の方、植物に詳しい方等々の協力を得て、定例会を円滑に運営できた。
しかし、定例会の企画等には杉浦個人で行うことが多く、発想の変化に乏しい企画となったように思われる。また新規隊員の増員も出来ておらず、「りぶらいきものみっけ隊」としての自立について課題を残している。

平成 24 年度の展開

前述問題点を解決するために「りぶらいきものみっけ隊」の実行委員会の設置に努め、以下の課題に取り組みたい。



- ・定例会の企画
- ・今後の「りぶらいきものみっけ隊」の方向性の検討
- ・新規隊員の募集



いきものみっけ
Biodiversity Observation by One Million People



ひとや動物、草や花、ちいさな菌や虫も。身のまわりのいのちはすべてつながっています。このたくさんのいのちの調和は自然と呼ばれてきました。このごろでは生物多様性ともいいます。そこに、なくていいいのち、むだないいのちはありません。いそがしい毎日のなかで、忘れがちな自然の調和のありがたさを認め合えるように、自覚なくうっかり壊してしまわないように、いきものをみつけて、教え合おうよと呼びかけています。それが「いきものみっけ」です。



冬のコンサート

事業の目的

・多様な年代や活動の利用者がりぶらで交流し、新しいつながりを作るようにするため、施設を最大限活用した協働企画を募集・提案・実施する。

開催日時 :12月17日(土) お堀通り1階

事業の成果

澄んだ大人の歌声、童心に戻った童謡、若者のはずんだ歌声を楽しみました。



10:00 ~ 10:30

岡崎市 PTA

コーラス連盟合唱団

NORI ~祈り~, 煌めきの未来へ、Xマスソング

11:00 ~ 11:30

童謡 すみれの会

手のひらを太陽に、上を向いて歩こう、他



14:00 ~ 14:30

岡崎城西高校合唱部

空も飛べるはず、虹、Silent Night

外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.2

事業の目的

施設の活用と国際交流をはかるため、日本語を学ぶ外国人に日本語の歌を競ってもらい、交流につなげます。

活動実績

開催日：2月4日（土）

予選：13：00～14：30

決勝：15：00～16：00

場所：りぶらホール

司会：新井伸子

【審査員】

柏木典子：岡崎音楽家協会副代表

米津 眞：岡崎市文化芸術部部长

香田ともこ：NPO 岡崎都心再生協議会

山田美代子：りぶらサポータークラブ

鶴田 博：AGCO

事業の成果

去年に始まり2回目となった今大会、今年は計12名の外国人の方が参加して下さいました(内2人は体調不良のため欠場)。

大人っぽい13歳、陽気な金髪(カツラ)外国人、派手なステージ衣装に身を包む人 etc、見ていて飽きない面々です。主な参加者は中国、韓国、ブラジルの方々。流暢な日本語で歌っている彼らは、外見が日本人に似ていることも相まって日本人さながらでした。そんな彼らも歌い終わった後のコメントは...(笑)。新井伸子さんの親しみのある和やかな司会で、出演者の楽しいお話を引き出していただきました。



No.	氏名	出身国	予選曲目	決勝曲目	結果
1	ソン・ヨンイン	韓国	また、明日	ほうき星	参加賞
2	オカモト カウアン	ブラジル	Lovin'Life	真夜中のシャドーボーイ	欠場
3	トウカイエン	中国	ありがとう	Dear	審査員賞
4	トクナガジュリ	ブラジル	story	Go Go Summer	参加賞
5	フルカワヨシタカ	ブラジル	酔歌	北の漁場	入賞
6	イケヤヨシミ	中国	あなたの妻と呼ばれたい	トーキョー・トワイライト	欠場
7	リ・アイ	中国	小さな恋のうた	風の記憶	参加賞
8	ダニエル・マクドナルド	ニュージーランド	芽衣子の夢は夜開く	ハイスクールララバイ	参加賞
9	ワタナベ・チナ	中国	すすめの涙	天城越え	優勝
10	カヨウ・マルセロ	ブラジル	逢わずに愛して	愛燦燦	入賞
11	フ・ケイケイ	中国	未来へ	花のように	参加賞
12	タマヨセ・ジョナス・カネカズ	ブラジル	瞳を閉じて	Ti Amo	入賞

りぶらを活用①「親子でトモ学『詩と色えんぴつをたのしもう!!』」

事業の目的

学びの入り口に立つ年齢の子どもと、その親を対象に、

- ①図書館利用への意識を高める場所を提供する。
- ②詩を素材として、親子で「ともに学ぶこと」への関心を深める足がかりを作る。
- ③親子間のパートナーシップを深める一助としたい。

活動実績

第1回	8月27日	親子で詩の音読、作品からヒントを得て、色鉛筆を使っての描画を通し、親子でトモ学の楽しさを知る活動を行なった。
第2回	9月10日	様々な詩の音読を試み、色鉛筆を使って親子で異なる視点から描くことで、親子でトモ学のおもしろさを味わう活動とした。
第3回	10月1日	
第4回	10月15日	りぶらまつりについて、親子で展示作品や発表の準備をした。
第5回	10月29日	
第6回	11月12日	りぶらまつりに参加し、発表や展示を行いことで、親子でトモ学を体感するとともに、当日参加者に、当プロジェクトを知ってもらう場を提供した。

事業の成果

- ①「親子でトモ学」の目的に沿う場を提供することができた。
- ②担当スタッフとボランティアが、プロジェクトの目的を共有し、工夫と協力をするなかで、多くの経験とスキルを得た。
- ③LSCのサポートや、他の市民活動団体とのコラボレーションという形で、市民協働の意図するところを、少なからず体現できた。

平成24年度の展開

親子でトモ学への理解を深め、その輪が広がるよう努める。そのために、より多くの親子が参加できるよう、日程や託児等の設定に配慮し、より精度の高いプログラムの提供をしたい。



りぶらを活用②「あいち環境絵本まつり」

事業の目的	4月に行った、東日本に絵本を送るプロジェクトでは、約124人から6,000冊の寄贈があり、大きな手応えを感じました。そこで、「あいち環境絵本まつり」の開催（主催：愛知県・岡崎市）に合わせ、独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」の「本de寄付」に参画しました。
活動実績	<p>①1/12（木）～22（日）・1/28（土）～31（火）に単行本・文庫・新書・マンガの寄付を受け、23個の段ボール箱分の書籍を寄付しました。</p> <p>②1月21日（土）の「あいち環境絵本まつり」では、凧つくりワークショップを開催し、「りぶらいきものみつけ隊」の活動紹介と自然観察を行いました。</p>
事業の成果	<p>①「本de寄付」のブックオフオンライン（株）買取り金額：2/1日分：8,995円、2/14日分：5,211円 合計：14,206円</p> <p>②平成23年度あいち環境絵本の入選者の方にインタビューを行い、「Libra I on vol.20」に掲載しました。</p>



りぶらを活用③「ひこ・田中氏講演会」

事業の目的	ひこ・田中氏の呼びかけで、昨年4月に被災地に絵本を送るプロジェクトを実施しました。氏がこれに取り組み始めたきっかけやその後のこと、また、8月に出版された『ふしぎなふしぎな子どもの物語—なぜ成長を描かなくなったのか?』についてなどのお話をしていただき、私たちの今後の活動の参考にしたい。
活動実績	<p>「子どもの物語と私たちができること」 —震災の後、何故みんな本を送ろうとしたのだろう?— 3月31日（土）13:30～15:30 りぶらホール（60名）</p>
事業の成果	<p>残念ながら少人数での開催になりましたが、ボランティア活動についての示唆に富んだお話と、子どもに手渡す物語の『器』について考えさせられる内容でした。概要を「Libra I on vol.22」に掲載します。</p>



りぶら支援

事業の目的 りぶら自主事業実行委員会の事業協力や、りぶらから随時依頼された活動を行います。

活動実績 七夕飾り：7月1日（金）



子ども遊びワークショップ：8月5日（金）～7日（日）



来場者 500 万人達成記念式典：12月24日（土）



【体制について】

運営体制をより強化するため、年度末に運営委員と広報の編集員を広く募集しました。おかげさまで専任の編集員とホームページの更新員、および運営委員として4名のかたが新任されることになりました。また、会員として登録して下さる方も増え、まちびとバンクから継続的にLSCの事業に参加して下さる方もあります。この状況をふまえ、会員研修を継続的に行い、りぶらを支援する体制と会員のあり方ををしっかりと考えていきたいと思ひます。

【事業案について】

以下の事業を予定していますが、都合により変更及び実施できない場合もあります。また、その都度必要と思われる事業を展開していきます。

24年度	事業		開催予定日	担当
継続	会員研修		5/19 (土) 総会後	山田
継続	広報	情報誌編集 (奇数月1日発行)	随時	戸松
		ホームページ運用・更新	随時	
		りぶらグッズ	随時	
継続	りぶらフォーラム		3/3 (日) AM~PM	内田
継続	りぶらまつり		11/17・18 (土・日) 終日	杉浦
事業名 変更	ボランティアを育む会 →りぶらサポーターシステムを考える会		第1月曜日 14:00~	山田
継続	岡崎図書館未来企画		月1	戸松
継続	シネマ・ド・りぶら		4/19・6/21・8/23・10/18・12/20・2/21 木曜日 14:00~	森崎
継続	親子でトモ学		①7/22・29 ②8/19・25 ③9/2・9 土or日 10:00~12:00	浅沼
継続	りぶら いきものみつけ隊		4/1・5/13・6/10・7/8・8/5・9/8・10/14・11/11 12/9・1/13・2/10・3/10 土or日 10:00~12:00	杉浦
継続	冬のコンサート		12/15 (土) AM~PM	山田
継続	外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会		2/3 (日) AM~PM	戸松
継続および 派生事業	岡崎市生涯学習 シンクタンク	はじめましてサロン	5/15・7/17・9/18・11/20・1/15・3/19 奇数月第3火曜日 14:00~16:00	戸松
		りぶら講座	6/19・7/7・7/8・7/15・8/21・10/16・12/18 2/19 火or土or日 AM・PM・夜	
		シンクタンク	偶数月第3火曜日 14:00~	
新規募集	りぶらを活用			
参画	子ども遊び ワークショップ	りぶら自主事業	8/4・5 (土・日) AM~PM	山田
参画	図書館まつり		8/23・24・25・26 (木~日)	山田

Libra I n

りぶらサポータークラブ平成 23 年度 活動報告書

平成 24 年 3 月

りぶらサポータークラブ

〒 444-0059 岡崎市康生通西 4 丁目 71 番地

岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内

TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142

info@libra-sc.jp <http://www.libra-sc.jp>